

## 経済学部 経済学科

---

### 教育研究上の目的

経済学科は、経済学の理論・歴史・政策などの専門科目の学修を踏まえ、現代の複雑で多様な経済社会を理解し、実践的に対応できる人材の育成を目的とする。

### 教育目標

本学の教育目標及び本学科の教育研究上の目的等を踏まえ、経済学部経済学科では、現代の複雑で多様な経済社会を理解し、実践的に対応できる人材の育成を最終目標とします。

本学科では、少人数の長所を活かしたゼミナール及び学科独自の初年次専門教育と、2専攻及び5コースからなる専門教育を中核に展開しつつ、英語教育と情報教育を重視し、基礎能力の養成に努めます。さらに、教養教育、キャリア教育を含む全学共通の基礎教育と有機的に関連させることにより、4年間の学修を通じて、コミュニケーション能力と自ら学ぶ力を涵養して、専門知識を駆使して課題を見つけ出し解決できる有為な人材を育成することを教育目標として定めます。

### ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）

本学科のカリキュラムにおいて、所定の卒業要件単位を修得した者は、次に掲げる能力や資質を身につけていると判断し、学士（経済学）が授与されます。

1. 自立した良識ある市民としての判断力と実践力
  - (1) 現代社会が直面するさまざまな問題を深く理解し、自らの手で積極的に未来を切り拓くことができる能力。
2. 国際的感性とコミュニケーション能力
  - (1) 地域から世界まで広くみわたすことのできる国際的な視点とコミュニケーション能力。
3. 時代の課題と社会の要請に応えた専門的知識と技能
  - (1) 幅広い教養と専門的な知識を合わせもち、学際的で複眼的な思考ができる能力。
  - (2) めまぐるしく変化する現代社会に的確に対応できる情報処理技能。

### カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

本学科では、現代の経済問題を正確に認識し世界の急速な変化に対応できる能力を培うとともに、教養を身につけ基礎学力をバランスよく備えた人材を育成するために、以下に示した方針で教育課程を編成しています。

1. 教育課程の編成・実施
  - (1) 外国語科目や教養科目のほか、経済学・商学の各分野にわたって、幅広い知識と教養を身につけられる多彩な科目を配置しています。
  - (2) 系統的により深く専門科目を修得できるように専攻制を設けており、現代経済専攻では、①福祉・環境・公共政策コース、②市場・企業・産業コース、③国際経済・社会コース、経済分析専攻では、①政策分析コース、②データ分析コースを設けています。
  - (3) 国際的な視点とコミュニケーション能力を培うために、ビジネス英語や多様な言語を扱う経済外国語科目、英語による授業科目等、基礎から応用まで多彩な外国語科目を設置しています。
  - (4) 少人数で多種多様なテーマに取り組むゼミナールを、2年次第4 Semesterから4年次まで設置しています。
  - (5) 高度な技能と専門性を身につける中・上級の「インテンシブ・プログラム[情報]」コース、高度な実用英語能力を養う「インテンシブ・プログラム[英語]」コースを少人数クラスによって開講しています。

## 2. 教育の方法と評価

- (1) 教育課程の実施にあたっては、経済学の知識を段階的、体系的に学べるように、入門科目から応用科目(専門科目)へ適切に科目を配置します。入門科目としては、大学教育への適応を容易にするため、初年次に「FYS(ファースト・イヤー・セミナー)」、「経済入門」、「経済情報処理」を設けています。また、専門科目も学科に関わる科目やコースに基づく科目を充実させ、カリキュラム編成を行っています。
- (2) 大人数教育を是正し、適正規模の履修者数になるように努めています。
- (3) 単位制度の実質化を図るため、成績評価の方法及び基準を明確化し、成績評価を厳格化しています。

## アドミッション・ポリシー (入学者受入の方針)

### 1. 大学教育によって培う能力

- (1) 本学科では、現代の経済問題を正確に認識し世界の急速な変化に対応できる能力を培うとともに、教養を身につけ基礎学力をバランスよく備えた人材を育成します。

### 2. 本学科の求める入学者

- (1) 社会・経済問題に強い関心をもつ人。
- (2) 複雑でグローバル化した現代社会を深く理解する情報処理能力を身につけたい人。
- (3) 言語や異文化に好奇心をもち、それを理解しようとする国際感覚を培いたい人。
- (4) 日本語の基礎学力を備えるとともに、外国語によるコミュニケーション能力の向上をもめざす人。

### 3. 高校までの能力に対する評価(選抜方法)

- (1) 本学科では多様な入学試験を実施し、様々な視点からの選考を行うことで、経済学全般を学修するうえで必要とされる基礎学力を有している学生のほか、経済学を学びたいという強い意欲を持っている者やディスカッションに秀でた者など、多様な学生を受け入れます。